

- 特 長
1. 各種作物の灰色かび病・うどんこ病・その他の病害に、予防散布で安定した防除効果を発揮します。

2. 各種薬剤耐性菌にも優れた効果を示します。

3. ユニークな作用機構を有し、ローテーション散布に有効です。

4. 浸達性を有します。

5. 果実や葉の汚れが少なく、使いやすいフロアブル剤です。

6. 残効性や耐雨性を有します。

7. 有用昆虫に対し、影響が少ない薬剤です。
- 

製品ページはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2026 年 8 月 1 日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤及びメパニピリム を含む農薬の 総使用回数	使用方法
かんきつ	灰色かび病	2,000～ 3,000	200～700	開花期～幼果期 但し、 収穫90日前まで	2回以内	散布
なし	黒星病	2,000		収穫21日前まで	5回以内	
びわ	灰色かび病	2,000～ 3,000		収穫7日前まで	3回以内	
りんご	黒星病	2,000～ 6,000		収穫21日前まで	5回以内	
	斑点落葉病	2,000～ 4,000				
	うどんこ病	2,000				
	モニリア病					
もも	灰星病	2,000		収穫前日まで		
	黒星病					
	うどんこ病					
ぶどう	灰色かび病	2,000～ 3,000		収穫30日前まで	2回以内	
	うどんこ病					
ラズベリー	灰色かび病	2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	
かき	うどんこ病	2,000～ 3,000	200～700	収穫14日前まで	5回以内	
	灰色かび病				3回以内	
マンゴー	小菌核腐敗病	2,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	
ねぎ				収穫14日前まで	5回以内	
あずき						
いんげんまめ	灰色かび病	2,000～ 3,000				

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤及びメパニピリム を含む農薬の 総使用回数	使用方法				
きゅうり	褐斑病	2,000～ 3,000	100～300	収穫前日まで	4回以内	散布				
	うどんこ病									
	灰色かび病									
かぼちゃ	うどんこ病	67	10			常温煙霧				
		すいか	2,000～ 3,000				100～300	散布		
									メロン	
									トマト	
ミニトマト	灰色かび病									
なす	うどんこ病									
	灰色かび病									
	黒枯病									
ピーマン	うどんこ病	67							10	常温煙霧
		2,000							100～300	
パセリ		3,000								
いちご		灰色かび病	2,000～ 3,000	収穫前日まで	3回以内		常温煙霧			
	うどんこ病		50					5		
	うどんこ病	100	10							
		花き類・観葉植物 (ばら、スターチス、 宿根かすみそう、 ゆり、りんどう を除く)	灰色かび病			2,000～ 3,000	100～300	発病初期	5回以内	散布
宿根かすみそう	うどんこ病	2,000								
スターチス	灰色かび病	2,000～ 3,000								
	うどんこ病	2,000								
ばら	灰色かび病	2,000～ 3,000	200～700							
	黒星病									
	うどんこ病									
ゆり	葉枯病									
	灰色かび病									
りんどう	黒斑病			2,000						
	褐斑病									

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤及びメパニピリム を含む農薬の 総使用回数	使用方法
樹木類 (かしを除く)	うどんこ病	2,000	200～700	発病初期	5回以内	散布
	灰色かび病					
かし	うどんこ病					
	灰色かび病					
	紫かび病					



効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、次のことに注意してください。
 - (1) 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - (2) できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6 時間以上密閉状態としてください。
3. 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
4. おうとうには薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
5. りんごに使用する場合、開花直前から落花 20 日頃までの高濃度(2,000 倍)散布は、つがる、ジョナゴールド等の葉に薬害を生じる場合があるので注意してください。
6. シクラメンに使用する場合、開花中の花卉に薬液が付着すると薬害が生じる場合があるので、開花期以降の散布はさけてください。
7. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
8. 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
9. 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



安全使用上の注意



10. 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
11. 使用の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
12. 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
13. 街路、公園などで使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

● 保管上の注意

密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

● フルピカフロアブルの上手な使い方

① 予防的散布(早めの散布)を重点に行ってください。

病害虫発生予察情報などの県の指導に注意し、発生前や発生初期から予防的に散布(早めの散布)することで、優れた防除効果を発揮します。

② 的確な散布を行ってください。

病害発生後の散布では、十分な効果が発揮できない場合がありますので、治療剤で病勢を抑えた後に散布してください。灰色かび病は花卉などから感染しますので、感染しやすい部分に薬液が十分かかるように散布してください。

③ 連続使用はさけ、作用性の異なる他の薬剤とのローテーションで使用してください。

一般的に同一の薬剤を過度に使用すると、薬剤耐性菌の出現の危険性があります。作用性の異なる他の薬剤とのローテーションで使用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。

●小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
